

VIII

読み書きそろばん…

プラス

+1



1 子どものやる気高め、基礎学力を向上させる環境整備

現状と課題

日本の公的教育費割合は、OECD加盟28カ国で最下位です。適正な競争の復活や絶対評価から相対評価への再転換などの取り組みも大切です。

このような子どもの状況を踏まえた、学力向上対策や学習環境の充実に取り組み、「確かな学力」を確立することが重要です。

政策と実績等

- 発達段階に応じた学級編制への支援
- 学習意欲を高める授業づくりの推進
- 学力、知力の基礎となる健康、体力の向上

● 新体力テストにおける全国平均と同等もしくは上回る項目の割合を小・中学生で80%以上、高校生で90%以上

年度	H22	H23	H24
小学生	58.3%	66.7%	71.9%
中学生	68.5%	79.6%	79.6%
高校生	83.3%	88.9%	87.0%

● 体育授業などで活用する「運動プログラム2009」の全県展開をめざしたプログラム実践推進校の拡大

年度	H22	H23	H24
指定校数			H23推進校指定終了後、各学校で取組推進
小学生	40校	22校	
中学校	40校	18校	

● 毎朝10分間学習タイムの推進

● 小中全校で週4回以上実施

年度	H22	H23	H24
指定校数			
小学生	77.9%	93.9%	100%
中学校	95.9%	97.3%	100%

- 文章を的確に読む力、考えをまとめる伝える力など国語力の推進
- 小中一貫教育の推進
- 外国語指導助手を活用した英語教育の充実
- 特別支援学校の一層の推進

● 阪神昆陽特別支援学校 ▶▶▶ H24年度開校

- 高等学校との交流及び共同学習の実施
- H23姫路別所高校に分教室配置
- 特別支援学校9校及び高等学校9校
- 全県立特別支援学校の運動場等の芝生化（50%）

年度	H22	H23	H24
芝生化率	39% (9校)	43% (10校)	50% (12校) 以後、取組継続

- 通学区域の検討による高校の選択肢の拡大
- 新学習指導要領に対応した学力調査の実施と活用

● 阪神昆陽特別支援学校開校式



2 兵庫版副読本の活用による 道徳教育の充実



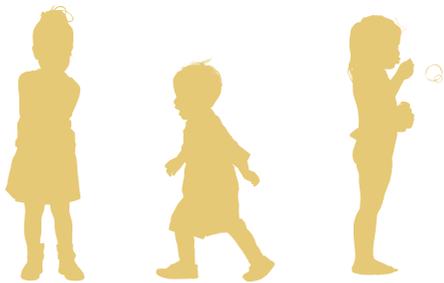
現状と課題

学校・家庭・地域が連携して、人間尊重の精神や生命に対する畏敬の念、公共の精神、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度など、子どもたちに人生や新しい社会を切り拓く基盤となる力を育成することが求められています。



政策と実績等

- 副読本を活用し、学校・家庭・地域が連携した道徳教育を推進
 - ▶▶▶ 全児童生徒へ無償配布（小学校低学年用、中学年用、高学年用、中学校用）
- 教員に対する副読本を活用した道徳授業の実践研修と体系的な道徳教育の実施▶▶▶ 道徳教育推進担当者研修の実施（年2回：全県研修＋地区別研修）
- 「男らしさ」「女らしさ」や男女の区別をなくすものではない実質的平等の観点に立った男女共同参画への指導徹底
- 道徳教育実践推進協議会の設置による授業力向上方策と小・中連携のあり方等検討



● 道徳教育授業の視察



● 全児童生徒に配布される道徳教育副読本



3 教員の資質を高め、地域に開かれた信頼される学校づくりの推進



現状と課題

実践的な研修等を通じて教職員一人ひとりの資質向上に取り組むとともに、団塊の世代の退職に伴い、増加が見込まれる新規採用教職員の研修を充実し、実践力を向上させることが重要です。

政策と実績等

● 地域 3 世代交流学习の充実

- 「わくわく親ひろば」の毎年150回以上の開催

年 度	H22	H23	H24 (目標)
年間開催数	172回	205回	150回以上

- 「ひょうごおやじネットワーク」への加入

年 度	H22	H23	H24 (目標)
加入団体数	27団体	30団体	45団体

- 地域の人材、資源の積極的活用による学校活性化の推進
- 学校経営能力養成研修の充実による校長の指導力強化
- オープンスクールなどの充実拡大

地域住民のオープンスクール参加者数

年 度	H22	H23	H24
年間参加者数	94,230人	102,188人	101,000人

● 教職員の元気な心づくり対策事業の推進

- 早期発見・早期対応のため臨床心理士等専門家によるメンタルヘルス相談窓口の設置
- 復職後の再発防止に向けた職場復帰トレーニング、プレ出勤制度の実施

● 兵庫型教科担任制の推進

- 導入小学校

年 度	H22	H23	H24
導入小学校数	261校	466校	660校 (全県実施)

- スーパーティーチャー派遣など小中学校の支援
 - ▶▶▶ スーパーティーチャーの配置数 (18人) の維持
 - 小中学校への派遣件数 909回 (H23)
- ひょうご学校支援地域本部事業による学校支援の促進

- 登録ボランティアの拡充

年 度	H22	H23	H24
実施小・中学校	764校	751校	取組の継続
登録ボランティア数	80,617人	76,675人	

● 少人数学級の授業 (小学5年生・算数)



4 豊かな芸術文化にふれる教育や体験から学ぶ教育の推進



現状と課題

子どもたちの豊かな人間性、社会性、自律性などを育む必要があります。「命の大切さ」や「生きる喜び」を実感する野外教育、環境学習、芸術文化にふれる教育などの兵庫型「体験教育」を体系的に実施するとともに、その成果を日常の教育活動に生かしていくことが重要です。

政策と実績等

● わくわくオーケストラ教室、ピッコロわくわくステージ、県民芸術劇場など芸術体験の機会充実

- わくわくオーケストラ教室（中1）の全公立中学校での実施 ▶▶▶ **実現**
- ピッコロわくわくステージの鑑賞事業公演数10公演の実施 ▶▶▶ **実現**

● 伝統文化の体験と継承、地域の歴史教育の推進

- 伝統文化体験フェアの開催：毎年1500人
▶▶▶ **実現：H23→2,403人、H24→2,439人**
- ふるさと芸術文化発信サポート事業の採択：毎年20件
▶▶▶ **実現：H23→27件、H24→29件**

● わくわくオーケストラ教室



● 環境体験学習、自然学校の推進

- いえしま自然体験センター（主に自然体験活動、環境学習）

年度	H22	H23	H24（目標）
年間利用者数	32,019人	27,718人	37,000人

- 兔和野高原野外教育センター（主に自然学校の受け入れ）

年度	H22	H23	H24
年間利用者数	74,000人	81,000人	103,000人

● 震災の教訓を生かした防災教育の推進

● 食育の推進

- 市町食育推進計画の策定支援

年度	H22	H23	H24（目標）
策定市町数	30市町	34市町	33市町（達成済み）

● 環境体験学習

